

平成27年度予算のお知らせ ～まちの将来を見据えて～

☎ 財政課財政係（市役所2階 ☎23-3331 内線222・223）

平成27年度予算が3月に開かれた市議会定例会で議決されましたのでお知らせします。

平成27年度予算は、4月に統一地方選挙が控えていることから、市民生活に必要な経費を中心とした「骨格予算」としています。

予算の方針

市では「健全な財政運営の推進」を目標に、第6次総合計画との整合性、徹底した節減を方針にした予算づくりをしています。

特に、市債（市の借金）の発行額を元金返済額の75%（発行額÷元金償還額）にするという目安を設け市債残高の減少に努めました。

伊達市全体の予算

一般会計や特別会計などを合わせた当初予算総額は、299億7千万円です。（表1参照）

その中で、行政運営の基本となる一般会計は約175億6千万円で前年度に比べて8億4千万円減少しています。（グラフ参照）

また、一般家庭の貯金に相当する市の基金のうち、財政調整基金を5億円、備荒資金を1億8千300万円取り崩すことで収支のバランスを図っています。

【表1】各会計の予算額

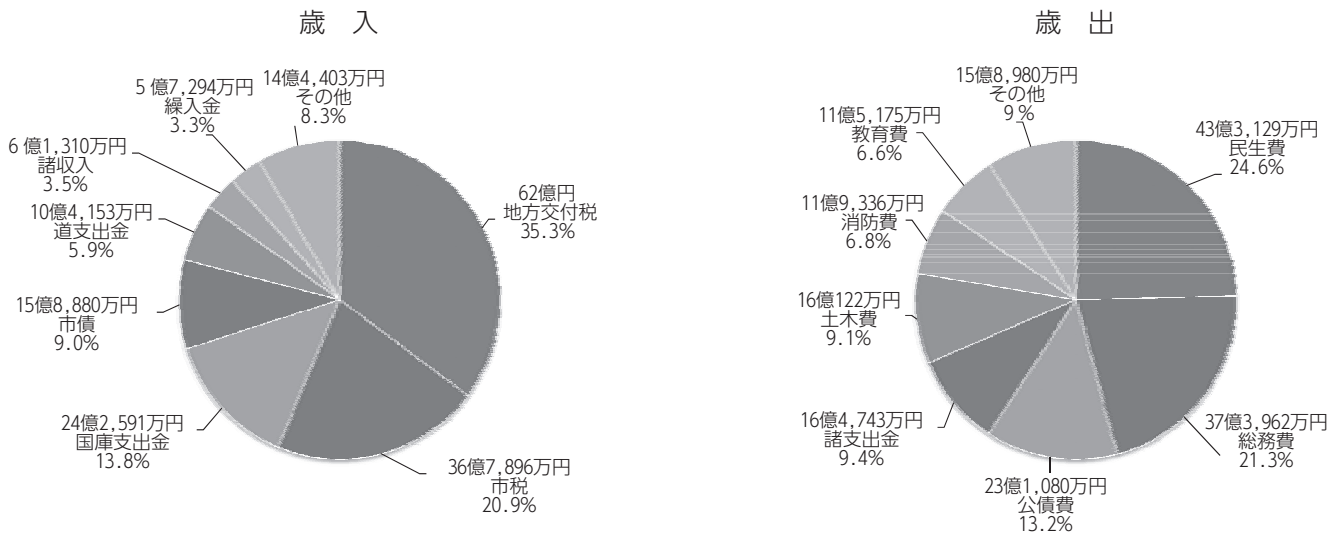
項目	平成27年度 当初予算①	平成26年度 当初予算②	比較増減 ①-②	増減率 (%)	
一般会計	175億6,527万円	184億591万円	▲8億4,064万円	▲4.6	
特別会計	国民健康保険	56億2,614万円	52億1,783万円	4億831万円	7.8
	下水道	17億8,264万円	16億5,609万円	1億2,655万円	7.6
	介護保険	32億7,813万円	32億4,276万円	3,537万円	1.1
	霊園	1,130万円	1,098万円	32万円	2.9
	簡易水道	9,857万円	1億4,027万円	▲4,170万円	▲29.7
	後期高齢者 医療	5億5,223万円	5億6,756万円	▲1,533万円	▲2.7
	計	113億4,901万円	108億3,549万円	5億1,352万円	4.7
水道事業会計	10億5,613万円	12億7,096万円	▲2億1,483万円	▲16.9	
合計	299億7,041万円	305億1,236万円	▲5億4,195万円	▲1.8	

主な事業の紹介

市民の皆さんが利用する道路や公園など「都市基盤・生活環境の整備」を行う事業はもちろんのこと、「市民活動センターの建設」や「大滝歩くスキーコースの整備」のための経費などを盛り込み、第6次総合計画とも整合を図りながら、まちの将来を見据えた予算を作りました。（表2参照）



【グラフ】一般会計予算 175億6,527万円



【表 2】主な事業及び予算額

産業・観光の振興	6,100万円
◎冬野菜産地化事業補助金 冬野菜の振興とブランド化を図るため、生産者に対しパイプハウスのリース料を補助する	2,100万円
◎大滝歩くスキーコース整備事業 市道との平面交差解消のためアンダーパスの整備や案内看板の設置、ワックスルームの整備を行う	4,000万円
福祉・市民生活の充実	1億1,000万円
◎生活困窮者自立支援事業（人件費を含む） 生活困窮者の自立に向け、相談支援や就労、その他の支援を行う	1,100万円
◎放課後児童対策事業（人件費を含む） 制度改正で対象児童が拡大されたため、新たな児童クラブの開設や指導員を増員する	9,900万円
教育・生涯学習の推進	4,000万円
◎（仮称）総合文化館整備事業 黎明観の一部を解体し、体験学習施設を含む建物を併設するための実施設計を行う	2,100万円
◎埋蔵文化財収蔵庫整備事業 埋蔵文化財を収蔵・整理するため、アートビレッジ文化館の一部を収蔵庫に改修する	1,900万円
都市基盤・生活環境の整備	8億7,200万円
道路網の充実 ◎西通り線、旭ヶ岡線、竹原通外1などの整備事業 インフラ整備として市民生活に欠かせない市道などを重点的に整備する	5億9,300万円
公園・緑地の整備 ◎都市再生整備事業 市民活動センターの整備を行う	2億7,900万円
防災体制の充実	10億3,800万円
◎西胆振消防組合負担金 消防救急アナログ無線のデジタル化や高機能指令センターを整備する また、消防救急無線のデジタル化に伴い、大滝区消防サイレンをデジタル遠隔吹鳴装置に更新する	10億3,800万円
行政情報の発信	1,300万円
◎コミュニティFM放送局事業経費 平成27年4月のコミュニティFM放送局の開局に伴う管理・運営に必要な経費	1,300万円

※予算書・予算概要は、市ホームページでも公開しています